

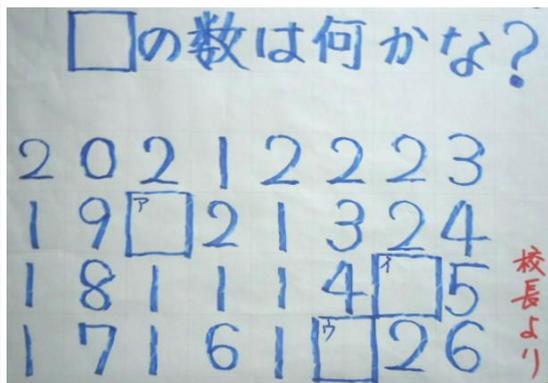
かけはし



算数って難しい？おもしろい？



◆1階の中央廊下に、今度はこんな掲示物を貼りました。子どもたちに少しでも「考える力」をつけることができたらと思って、前号に掲載したコーナーの隣に貼ったものです。



なぜなに
パワー

子どもたちがこの掲示物の前で一生懸命考えています。さて、答えは分かったでしょうか？よーくながめると、ある規則性が見えてきます。あるとき突然、「あっ、分かった」とひらめくかもしれません。その瞬間のひらめきや分かったときの喜びを、数多く味わえる経験を積み重ねていきたいと思っています。

◆第2号でもお知らせしました通り、本年度は「算数科」に重点を置き、子どもたちに「分かる喜び・できる楽しさ」を味わわせ、学習意欲を高めながら学力向上を図っていこうと日々の取組を続けています。算数は、答えが一つです。でも、その答えを導き出す方法はたくさんあります。こんな方法でもできるし、あんな方法も使える、友達の求め方を聞いてなるほどと思ったり、もっと別の方法を考えてみようと思ったり…。算数は決して難しくありません。これまで習った方法を上手に使いながら、一瞬のひらめきで新しい法則を見つけ出す楽しさを、日々の学習の中で存分に味わってほしいと思います。ところで、上記の問題の答えはそろそろひらめきましたか？



情けは人のためならず

すこやか
パワー

◆先日、学校に来客がありました。その方は、「90才をこえる母が、『夕方散歩中、急に雨が降ってきて困っていたら、小学生の女の子が“これを使ってください”と言って傘を貸してくれた。それが大変うれしかった。』と、家に帰って本当にうれしそうに話しますので、今日は、その母に代わってお礼と傘の返却に来ました。」とおっしゃいました。その後、その子とも出会い、丁寧にお礼を言って帰られました。後刻談ですが、その傘は、その前の日に買ってもらったばかりの真新しい傘だったそうです。傘を貸す人・返す人の思いを感じて、胸が熱くなりました。

◆「情けは人のためならず」という言葉は、「情けをかけるのはその人のためによくない」という意味にとられがちですが、本当は「情けを人にかけておけば、めぐりめぐって自分によい報いが来る」という意味です。「素直な心・まっすぐな心で人に優しく接する。それが結局は自分のためなんですよ。」この言葉を受け継いできた先人の声が聞こえてきそうです。